

(別紙)

令和7年度 学校経営の自己評価(最終実施状況)

令和8年3月31日
東京都立武蔵台学園

	取組目標	目標数値	達成度	実施状況	成果と課題
1 安全で安心な学校運営の推進	ア 骨折・頭部のけが、行方不明等、児童・生徒に関する管理内事故の撲滅(年0件)	児童・生徒の管理内事故(年0件)	100%	事故0件 ヒヤリハット事例周知(適時)・事例報告会(1月)、年間を通した事故防止のための定期的な情報共有(毎週)、事故防止週間の実施(毎月)、教員による危険物点検の徹底(毎日)	<成果>ヒヤリハット事例周知・報告会等による指導改善と教員の意識向上 <課題>事故0件の継続、教員のさらなる意識向上
	イ 体罰・不適切な指導の根絶、いじめの未然防止(年0件)	体罰・不適切な指導、いじめの見逃し(年0件)	100%	事案0件 学校生活アンケート(6、11、2月)、服務事故防止研修、性暴力・体罰等のチェックシートに基づく校長との個別面談(全教員7月)、教員のいじめ防止研修4回	<成果>学校生活アンケートによるいじめ・体罰・不適切な指導の早期発見、服務事故防止研修による学校全体の意識向上 <課題>事案0件の継続、教員のさらなる意識向上
	ウ スクールバスの安全で円滑な運行【知】	スクールバスに関する事故(年0件)	100%	学校に起因する事故0件 乗務員対象の研修会1回、注意喚起を含むミーティング3回、どこイルカ(GPS)の定期的な訓練(各学期1回)	<成果>スクールバス物損事故発生時の迅速な対応と注意喚起による再発防止 <課題>スクールバスの安全運行に向けた乗務員の意識向上
	エ 適切な保健管理、保健指導及び「TOKYO ACTIVE PLAN for students」(令和4年3月策定)(総合的な子供の基礎体力向上方策(第4次推進計画))を参考にした児童・生徒の体力向上及び健康の保持増進	医療的ケアに関する事故(年0件)【知】	100%	事故0件 対象者に対し安全に実施	<成果>支援校常勤看護師との連携、看護師付添いによる校外学習等の安全な実施、保護者との連携による宿泊行事の安全な実施 <課題>医療的ケアにおける進路先及び保護者との円滑な連携 相談内容の効果的な活用 感染症・熱中症等の対策を講じた教育活動における安全な実施の継続
		療育相談による児童・生徒及び保護者への支援(年9回)【知】	100%	9回16ケース	
		「保健だより」による感染症・熱中症等予防の啓発(12回以上)【知】	108.3%	13回	
オ 安全な給食の提供(給食に関する事故 年0件)【知】	給食に関する事故(年0件) 栄養士・外部専門員と連携した食育(小6・中3・高3各1回)及び摂食指導(年11回、夏季研修1回) 「給食だより」による栄養・食文化・食育等の啓発(11回以上)	0% 100% 100%	事故1件(野菜切裁機部品混入) 外部専門員による摂食指導11回、夏季研修1回、食物アレルギー対応委員会3回 11回	<成果>外部専門員による摂食指導を通じた実態に応じた食形態の提供(3名4回)、口腔機能を基にした食べ方の工夫・改善(全員) <課題>安全な給食提供に向けた委託業者の意識向上	
カ 大規模災害、感染症拡大等、緊急事態に備えた対応策の徹底(集団感染 年0件)	集団感染(年0件) 大規模災害を想定した実効性ある訓練(抜き打ち訓練 年3回)	100% 100%	集団感染0件 抜き打ち訓練3回 全校引き渡し訓練、全校防災教室、教職員救命救命講習、消火器消火栓訓練、教職員総合防災訓練	<成果>インフルエンザ流行期におけるマスク着用推奨等、感染予防に対する組織的な取組 各月想定を変えた避難訓練の工夫、全校防災教室による防災意識の向上 <課題>感染予防徹底のさらなる継続 様々な想定での訓練による教職員の危機管理意識の向上	

2 人権尊重と個に応じた教育の推進	キ	人権を尊重し、個の状況を理解した教育の徹底(学校評価アンケート 人権に関する保護者満足度100%)	呼名における、小1から性別問わず「姓+さん」の徹底 人権に配慮した指導に対する保護者満足度(100%)	100% 98.6% 100%	【知】125人中125人、【病】50人中50人 【知】学校評価(10月)における満足度 【病】退院時評価(随時)における満足度	<成果>呼名における人権意識の定着 <課題>人権意識の継続 【知】<課題>人権に配慮した指導の徹底(昨年度比1.1ポイント減) 【病】<成果>昨年度同等評価の維持
	ク	東京都教育ビジョン(第5次)(令和6年3月策定)、「2025未来の東京戦略」(令和7年3月策定)及び「東京都学校教育情報化推進計画」(令和6年3月策定)等に基づくデジタル技術を活用した教育の推進	デジタルを活用した研究授業(5~12月 全教員一人1回以上) デジタル活用に関する研修会(夏季休業日中2回)	100% 200%	【知】107人中107人 【病】48人中48人 7月計4回 情報部及びデジタルサポーター等による一人1台端末活用法研修会(参加者【知】85名、【病】19名)	<成果>デジタルを活用した教材の工夫と実践の定着 一人1台端末を活用した授業の展開 <課題>一人1台端末を活用した実践事例の蓄積
	ケ	一人一人のキャリア発達を見据えた進路指導の充実(企業就労率30%以上)(希望進路先への就労・進学率100%)(過去3年間の企業就労定着率100%)	企業就労率(30%以上) 希望進路先への就労・進学率(100%) 過去3年間の企業就労定着率(100%) 「進路通信」による情報発信(8回以上)【知】 「進路だより」による情報発信(6回)【病】 病院内施設等の職場見学の実施(各学級各学部年1回以上)【病】	85.0% 100% 88.5% 100% 100% 100%	25.5%(47人中12人) 希望進路先に全員内定 26人中23人定着(1年目80%、2年目100%、3年目90%) 【知】8回 【病】6回 【病】5回	【知】<成果>個に応じた進路指導による、希望進路先への就労の実現 【知】<課題>ハローワーク・就労支援センターとの連携による生徒の実態に合った企業の開拓、効果的な情報発信による本人・保護者との共通理解、アフターケアの充実による企業就労の定着 【病】<成果>効果的な情報発信 <課題>発信内容の収集 【病】<成果>職場見学実施後における感謝の手紙等を通じた交流 <課題>体系的な職場見学の実施
	コ	地域の外部人材の活用による専門的な教育の推進	お話し会、読み聞かせ、清掃技能検定、がん教育、主権者教育【知】 落語教室、腹話術教室、日本茶教室、星空教室、先輩の話を聞く会【病】	100% 100%	【知】お話し会3回、読み聞かせ18回、清掃技能検定2回、がん教育1回、主権者教育1回 【病】落語教室2回、腹話術教室2回、日本茶教室1回、星空教室1回、先輩の話を聞く会1回	【知】<成果>地域人材との連携による読み聞かせの実施、都立多摩図書館のセット貸出 <課題>継続した児童・生徒の体験学習の企画 【病】<成果>感染防止対策の緩和による対面実施 <課題>先輩の話を聞く会での講師役となる人材の確保
	サ	病院との連携による教育活動の推進並びに「東京グローバル人材育成計画'20」(平成30年2月策定)及び「東京グローバル人材育成指針」(令和4年3月)を踏まえたグローバル人材の育成【病】(退院時評価満足度100%)	退院時評価満足度(100%)	100%	【病】退院時評価(随時)	<成果>満足度100%の維持 <課題>アンケート回収率向上の工夫

3	シ	特別支援教育コーディネーターを中心としたセンター的機能の充実	「都立版エリアネットワーク」における高校への支援(年10回以上)【知】	300%	【知】高校4校6課程における授業観察、巡回相談、メールや電話での相談計30回	【知】<成果>高校内教育相談委員会への参加、市教育委員会研修会への講師としての参加を通じたセンター的機能の発揮 <課題>高校及び市教育委員会への支援充実に向けたさらなる連携		
			市の教育委員会への支援(就学支援委員会等 年30回以上)【知】	233.3%	【知】市就学支援委員会、小・中学校への巡回相談、研究授業への助言等計70回			
			病院との連携による入院中の子供たちへの教育相談の実施(随時)【病】	100%	【病】5件	【病】<成果>病院との連携による教育相談の継続 <課題>病弱教育のさらなる理解促進の工夫		
			病弱教育の理解促進を目的とする地域向けWeb研修の実施(年1回)【病】	100%	【病】8月実施(参加者470名)			
3	ス	交流及び共同学習の推進【知】	直接交流及び間接交流合わせた副籍実施率(小学部60%以上)	113.4%	小学部68.5%	<成果>保護者会や個別面談等での副籍交流好事例紹介、参加に向けた一層の呼びかけによる増加、副籍出前授業による理解推進(7回509名の児童・生徒が参加) <課題>副籍交流への理解促進の工夫		
			(中学部30%以上)	166.7%	中学部50.0%			
			学校間交流を通じた交流及び共同学習の推進(年4回)	100%	桐朋学園小学校と武蔵台小学校との交流計4回、府中市立中学校作品展での展示			
3	セ	特色ある教育活動の積極的な発信による理解啓発	ホームページへの「センターだより『西』Good News」への本校記事の掲出(年6回以上)	100%	6回	<成果>新たな特色ある活動の企画 <課題>特色ある取組の継続的な発信		
			ホームページの更新(年150回以上)	113.3%	170回			
3	ソ	東京都特別支援教育推進計画に基づく学籍異動や施設整備等の円滑な事務	都立立川学園及び都立府中けやきの森学園学籍異動対象者への情報提供(年2回以上)【知】	100%	学籍異動対象者への情報提供2回 異動校への引継(11月)	<成果>円滑な学籍異動に向けた対象者への情報提供及び異動校への引継 <課題>継続的な情報提供と円滑な学籍異動の実施		
		4	タ	教員の専門性及び授業力の向上	研究授業(5~12月 全教員一人1回以上)	100%	【知】107人中107人 【病】48人中48人	【知】<成果>夏季休業日を活用した教材作成研修等による専門性向上、校内初任研及び校内2・3年次研を通じた業務理解、理解推進研修事業「WISC-Vの基礎知識」の実施(参加182名) <課題>初任者及び2・3年次の若手教員の育成及び指導教員の指導力向上 【病】<成果>基礎から専門分野までの幅広い知識の習得 <課題>効率的な内容・時期等の調整
					年次研対象者の研究授業への指導主事等による指導・助言(年5回以上)	260%	13回	
					外部専門員等による研修会(年10回以上)	110%	11回	
		都立小児総合医療センター医師等による研修会(年4回)【病】	100%	4回				
4	チ	ミドルリーダーのマネジメント力向上	目標設定等の検証(4月)、取組目標進捗状況の報告(9、2月)	100%	目標検証(4月)及び進捗状況取りまとめ(8、1月)、主幹会議による学校運営補佐、人材育成、分掌・学部主任会の進行及びマネジメント状況の検証(毎週)、研究授業観察による指導・助言及び改善策の提案(随時) 【病】学級運営会議における学部主任、副主任主体の運営支援(毎週)	<成果>適切な業務支援による年間業務の確実な遂行、計画的な行事の実施、デジタル連絡帳等新規取組の進行管理 <課題>若手教員の組織的・計画的な育成		

5 働き方改革の推進	ツ	サービス事故の根絶に向けたサービス管理(サービス事故 年0件)	サービス事故(年0件)	0%	事故扱い1件(交通物損事故) 校内巡視及び即時指導によるサービス規律の確認(毎日)、都の通知等に基づいた個人情報の管理徹底、言葉遣いに関する指導(随時)	<成果>毎日の巡回指導による注意喚起と定期的な研修 <課題>教員一人一人の自覚と高い意識の維持継続
	テ	「学校における働き方改革推進プラン」(平成30年2月策定)及び「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」(令和6年3月策定)に基づく教職員のライフワーク・バランスの推進	時間外勤務月45時間以内(達成率100%) 年休取得日数15日以上(達成率100%) ストレスチェック受検率(100%) 教職員の勤務満足度(100%)	94.1% 86.7% 100% 93.1%	4~2月平均達成率 3月末時点達成率 対象者全員受検(7月) 学校評価(内部評価10月)における満足度	<成果>時間外勤務の減少 <課題>主幹教諭・主任教諭の業務改善 <成果>休暇を取得しやすい良好な関係性の構築 <課題>休暇取得に向けた意識向上 <課題>継続した取組と高ストレス者の減少 <成果>働きがいへの意識向上 【知】<成果>昨年度比0.5ポイント増 <課題>満足度向上に向けた取組の継続と良好な職場環境の維持
	ト	経営企画室の適正で円滑な業務遂行と積極的な経営参画(一般需用費のセンター契約集約率60%以上) (予算執行率 備品100%、一般需用費95%以上)	一般需用費のセンター契約集約率(60%以上) 予算執行率(備品100%) (一般需用費95%以上)	103.8% 100% 86.3%	(3月2日時点) 62.3%(推定額年度見込) 備品99.8% 一般需用費82%(推定額算出)	学校執行への振替予定を加味した年度末見込(今後若干変動) 1千円未満の端数分で実質100% 最終的には落差金を学校執行とすることで年度末時点で98%以上の見込
	ナ	学校評価アンケート等を活用した学校運営の点検及び改善	学校運営全般に対する保護者満足度(100%)【知】 小学5・6年生、中学生及び保護者による退院時評価満足度(100%)【病】	97.7% 100%	【知】学校評価(10月)における満足度 【病】退院時アンケート(随時)における満足度	【知】<成果>本校の取組への理解度の向上、学校運営連絡協議会からの提言に基づく取組方針の確立 <課題>昨年度比0.3ポイント減、取組についての情報発信 【病】<成果>満足度100%の継続 <課題>アンケート回収率向上のさらなる工夫

【知】：知的障害教育部門のみ

【病】：病弱教育部門のみ

無印：両部門共通